

第 8 回会議でいただいた主な意見

事業承継など中小企業・小規模事業者に対する支援人口減少地域での起業支援

- 小規模企業への支援や起業支援は地域に働き口を確保するという観点から人口減少対策にもつながるのではないか。

グルメ・歴史などの地域資源を活用した多彩な体験型観光づくり戦略的な広報による国内外への埼玉の魅力発信

- 人が集まる場所・人を呼べる場所となるためには、各地域の歴史や文化、個性を生かしたまちづくりが必要。
- 渋沢栄一を大々的に PR してみてもいかがか。

外国人観光客の来訪促進と受入体制の整備

- インバウンド対策として「酒どころ」が非常に PR となるのではないか。
- インバウンド対策のために SAITAMA プラチナルートといったプレイスブランディングだけでなく、例えば幕末をテーマにしたツアーなどソフト面的な PR をしても良いのでは。

伝統と文化を尊重する教育の推進

- 埼玉はあまり良いイメージが無いのでは。いかに地元で愛着を持ってもらうかが重要。

結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供支援

- 結婚支援は重要。

子育て環境の整備

- 次代を担うのは子供達であり、子供達を健全に育てることが重要。
- 子育ては血縁に関わらず、みんな（地域）で行うことが重要。
- 子育てにはなるべく多くの大人が関わった方が良い。

生活交通を支える路線バスの維持・確保対策

商店街の振興と活性化支援

- 高齢者が町に出て買い物をするために既存の交通インフラや商店街・空き店舗の有効活用により地域の活性化をしてほしい。

高齢者が働きやすい職場づくりの推進

高齢者の社会参加の支援

- パワーある高齢者が主役となれる仕組みづくりをしてほしい。
- 退職者世代の有効活用をしてほしい。埼玉県は全国に冠たる資源を持っているのではと思う。

商店街の振興と活性化支援

- 地元にお金を落とすというローカルファーストの考えが地域活性化につながる。

多様な主体による地域課題解決の取組の促進

コミュニティ活動の促進

- 地域の人をただ知るのではなく、商売につながるような有益な情報があれば良い循環が生まれる。
- 各地域の取組や団体をつなげる仕組みづくりをしてほしい。
- 地域における人と人との関わり合いがやはり重要。多世代の人が関わると尚良い。

多様な主体による地域課題解決の取組の促進

- 大学の持つ人的資産の有効活用をしてはいかがか。

AI・IoT等を活用した生産性向上に向けた取組支援

外国人労働者の企業への受入支援

高齢者が働きやすい職場づくりの推進

- AI・ロボット、外国人材、高齢者といった多様な技術・人を活用すると良いのではないか。

地方創生 SDGs の推進

- 取り残されてしまう人がいなくなる環境づくりが必要。
- SDGs については経済界でも積極的に取り組むようになってきている。

その他

- 高齢者による自動車事故が話題になっていることを踏まえると、自動ブレーキ付き車両限定免許など新しい免許区分が必要ではないか。
- AI がもたらす未来では働く場所が無くなってしまわないか。
- AI の台頭により生まれる働きたくない人・働けない人への対応が必要。そのために、ひきこもりの研究を試みるのも良いアイデアではないか。
- 奨学金への寄附に対する税制特例があると良いのでは。貧困の連鎖の回避にもつながるかもしれない。
- 総合戦略を考える上で、住民のニーズ把握と地域の特色発揮が重要。
- 各種統計データに 65 歳から 70 歳までの区分を加えるとより参考になるのではないか。